

【インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践】 シラバス抜粋

担当教員／Instructor	村岡 貴子
開講区分(開講学期)／Semester	春～夏学期
開講科目名／Course Name	言語技術研究A/Studies in Language Skills A
曜日・時限／Day・Time	水曜4限 / Wednesday 4th period
単位数／Credits	2
講義題目／Course Name	日本語による書記言語コミュニケーション
授業の目的と概要／Course Objective	本授業の目的は、書記言語の特徴と関連の概念について理解し、それをもとに、種々のメディアを通じたコミュニケーション、および言語教育の実践上の問題について考察することである。考察に際しては、ジャンル分析の手法を援用しつつ、各種文書や教材等の具体的な言語資料を材料として表現やテキスト構造の分析を行う。また、関連の学術論文等の文献を読むことにより、書記言語でのコミュニケーションにおいて生じる誤解や、正確な伝達の不成功に関する課題についても認識を促したい。
教科書・教材／Textbooks	村岡貴子他(2013)『論文作成のための文章力向上プログラム－アカデミック・ライティングの核心をつかむ－』(大阪大学出版会)
参考文献／Reference	学会誌『日本語教育』(日本語教育学会)、学会誌『専門日本語教育研究』(専門日本語教育学会)。その他、授業中に適宜指定する。
特記事項／Special Note	特記事項／Special Note 教科書は第4刷のものを使用する。著者割引(2,400円)により、初日授業後に入手可能。受講する人は早めに登録をお願いします。教科書等について教員から、授業開始日前に連絡します。また、授業はメディア授業として本学のCLEとZoomをも活用する予定です。不明な点はtmuraoka@ciee.osaka-u.ac.jpまでお知らせください。

担当教員／Instructor	村岡 貴子
開講区分(開講学期)／Semester	秋～冬学期
開講科目名／Course Name	言語技術研究 B/Studies in Language Skills B
曜日・時限／ Day・Time	水曜4限 / Wednesday 4th period
単位数／Credits	2
講義題目／Course Name	アカデミック・ライティングの実践と研究
授業の目的と概要／Course Objective	本授業の目的は、関連の学術論文等の文献を読み、コミュニケーションの目的や場面に応じた、書記言語 コミュニケーションとしてのライティング活動について理解を深めることである。特に、大学院生として研究活動を行う上で必要となるアカデミック・ライティングに関して、ディスコース・コミュニティの概念から、受講者各自の専門分野における事情や方法論を客観的に把握できることを目指す。原著論文をはじめ、レポートやレジュメ、要旨の作成といった、アカデミックな場面でのライティング活動の特徴、および多様な背景を有する読み手への配慮について、具体例に基づき、十分な意見交換を行いたい。
教科書・教材／Textbooks	村岡貴子・因京子・仁科喜久子／論文作成のための文章力向上プログラムーアカデミック・ライティングの核心をつかむー／大阪大学出版会／9784872594164
参考文献／Reference	学会誌『日本語教育』、学会誌『専門日本語教育研究』、その他、授業中に適宜指定する。
特記事項／Special Note	教科書は第4刷のものを使用する。著者割引 (2,400円) により、初日授業後に入手可能。早めの登録がなされた場合は、教員から連絡を行う。 本授業ではメディア授業を活用する予定。なお、後日、状況によって対面で行う場合は、受講者と相談の上、決定する。